

議員提出第20号

第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議

吉川市議会会議規則第13条の規定により、上記決議書を別紙のとおり提出する。

平成24年12月14日

提出者 吉川市議会議員 加藤 克明

賛成者 吉川市議会議員 中村 喜一

〃 降旗 聡

〃 稲葉 剛治

吉川市議会議長 松 澤 正 様

提案理由 口 頭

第 32 回オリンピック競技大会及び第 16 回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議

オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会は、ほぼ全世界の国と地域から選手団が参加する世界最大のスポーツの祭典、平和の祭典であり、参加する人々の交流を通じて世界平和の実現に貢献してきた。

我が国はこれまで、1964 年の第 18 回オリンピック東京大会をはじめ、1972 年の第 11 回冬季オリンピック札幌大会、1998 年の第 18 回冬季オリンピック長野大会を開催し、世界中の人々に感動と喜びを与えるとともに、国際社会に対して、我が国の存在感をアピールしてきた。

スポーツの振興や東日本大震災からの復興を全世界にアピールするため、東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会は、2020 年に開催される第 32 回オリンピック競技大会及び第 16 回パラリンピック競技大会の招致申請を行った。

2020 年オリンピック等を東京で開催することは、復興の姿を世界に示すとともに、震災後に世界各国から寄せられた心温まる支援に対する謝意をあらわす好機となる。また、我が国自身にとっても、復興を成し遂げるための象徴的な目標ともなる。

課題と言われた国内支持率、認知度もロンドン大会以降高まっているが、多くの国民や子供達に夢と感動をあたえるためにも更なる熱意と支持が必要になる。

さらに、埼玉県に関しては、「埼玉スタジアム 2002」及び「陸上自衛隊朝霞訓練場」が競技会場として予定されており、これら施設が使用されれば、埼玉の名を広く世界にアピールすることができる。また、市内でも、スポーツの振興はもとより、地域の活性化や国際交流の進展など、様々な分野において極めて大きな波及効果が期待されるものである。

よって吉川市議会としても、その機運を高めると同時に、市民に夢・希望・感動を与える 2020 年開催の第 32 回オリンピック競技大会及び第 16 回パラリンピック競技大会の日本開催を心から希望し、東京招致を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成 24 年 12 月 14 日

埼玉県吉川市議会